

報道発表資料の配付日時 3月18日(月) 11時00分

発表項目 (行事名)	「乗ろう！学ぼう！てっぺん宗谷の乗り物体験教室」の参加者募集について		
記者レクチャー	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>宗谷総合振興局では、これから鉄道やバスの利用者となる子どもたちに、地域公共交通を身近に感じてもらい、将来の公共交通の利用促進につなげる取組を行っています。</p> <p>こうした取り組みも6年目を迎え、令和6年度も引き続き管内全市町村から児童の参加を募り、複数回に分けて開催するとともに内容も趣向を凝らして実施いたします。</p> <p>第1回目となる今回は礼文町、利尻町及び利尻富士町の小学生を対象に次の内容で実施しますのでお知らせいたします。</p> <p>○事業名 乗ろう！学ぼう！てっぺん宗谷の乗り物体験教室 (旧：子ども鉄道乗車体験)</p> <p>○開催日 令和6年5月11日(土)</p> <p>○対象 礼文町、利尻町及び利尻富士町にお住まいの小学生</p> <p>○募集人数 20名(各町6～7名程度) ※応募人数を超えた場合は抽選とし、 初参加の児童を優先させていただきます。</p> <p>○募集期間 3月18日(月)～4月8日(月) ※既に募集を開始しております。</p> <p>○内容(予定) ※行程の詳細は別添募集チラシをご確認ください。 ・鉄道の改札・乗車体験(豊富駅→稚内駅) ・路線バス乗車体験・乗り方講座 ・フェリー船内の見学 ・JR北海道鉄道施設の見学 など</p> <p>○申込先 以下の当課HPの特設サイトにある申込フォームから申込ください https://www.harpp.lg.jp/6XqYIz1E</p> <p>○主催 北海道宗谷総合振興局、北海道鉄道活性化協議会</p> <p>○協力 北海道旅客鉄道株式会社旭川支社、ハートランドフェリー株式会社、宗谷バス株式会社、稚内市、礼文町、利尻町、利尻富士町</p>		
参考			
報道(取材)に当たってのお願い			
他のクラブとの関係	同時配付(場所)		
	同時レク		
担当 (連絡先)	宗谷総合振興局地域創生部地域政策課 課長 伊東 大祐 電話：0162-33-2523(直通) / 内線：2150 主事 矢作 亮 電話：0162-33-2915(直通) / 内線：2091		

あつまれ
こどもたち!!



乗ろう! 学ぼう! てっぺん宗谷の

のりものの体験教室

日程

5月11日 土

鴛泊F T発着 8:30~16:10
香深F T発着 8:30~16:40
(フェリーの時刻による)

20名
参加無料



募集人数

利尻島・礼文島にお住まいの小学1~5年生
※募集人数を超えた場合は抽選とし、
初参加の児童を優先させていただきます。

20名

参加申込

こちらのURLまたはQRコードからお申し込みください
<https://www.harp.lg.jp/6XqYIz1E>

申込期限 **4月8日(月)**



当日の行程 ※変更になる場合があります

	利尻島	礼文島
8:30	鶯泊フェリーターミナル 出発	香深フェリーターミナル 出発
10:35	稚内フェリーターミナル 到着	
10:50		稚内フェリーターミナル 到着
10:55	稚内フェリーターミナル出発（バス）	
	路線バス乗り方講座	
11:40	豊富駅 到着	
12:00	豊富駅 出発（JR）	
	昼食	
12:42	稚内駅 到着	
13:00	稚内駅 出発（バス）	
13:10	JR施設 到着	
	JR施設 見学	
13:50	JR施設 出発	
14:00	稚内フェリーターミナル 到着	
14:30	稚内フェリーターミナル 出発	
14:45		稚内フェリーターミナル 出発
16:10	鶯泊フェリーターミナル 到着	
16:40		香深フェリーターミナル 到着

◇留意事項

○**昼食、酔い止め**については**ご持参**いただきますようお願いいたします。

○次の事項について、

あらかじめご了承ください。

- ・報道機関の取材、撮影。
- ・当日の写真などのSNS等での使用。
- ・フェリーの運航状況によっては中止にする場合があります。

◇お問合せ

北海道宗谷総合振興局

地域創生部 地域政策課

電話：0162-33-2915（直通）

※詳細は当課HPをご確認願います。

<https://www.souya.pref.hokkaido.lg.jp/ts/tss/146762.html>

【主催】

- ・北海道宗谷総合振興局
- ・北海道鉄道活性化協議会

【協力】

- ・JR北海道旭川支社・宗谷バス(株)・ハートランドフェリー(株)
- ・稚内市・礼文町・利尻町・利尻富士町



みんなで乗れば、
未来が変わる。

考えよう。行動しよう。公共交通の未来。